

河北町民のみなさま

「号外」を読んで温暖化について考えてみましょう

地球温暖化への関心は年ごとに高くなっていると感じます。国では京都議定書に則り2012年までに1900年を基準として二酸化炭素を6%削減するプロジェクトとして「チーム・マイナス6%」を推進しています。山形県では独自に7%の削減を約束しています。河北町においても「河北町環境基本条例」を策定して「河北町環境審議会」を組織するなど温暖化防止活動を進めています。

しかし、温暖化のスピードは年々加速し、対策がなかなか追いつかないのが現状です。

そんな中、一人の男がとんでもないことを始めました。名前を「てんつくマン」と言います。元よしもとの芸人で「てんつくマン」という名前は、「天国は行くものではなく、自分でつくるものだ」という発想からの名前だそうです。

この人が、温暖化防止活動を呼びかける「号外」を4900万の日本全戸に配布しようという計画をたてました。それが実現すればギネスの記録になるということで、楽しみながら環境問題を考えようという試みです。この呼びかけを知り、河北町環境を考える会でも参加しようということになりました。そしてこの度、町内区長さんのご理解とご協力を得て河北町全戸にこの号外を配っていただくことになったのです。

河北町全戸が電球を1個替えるだけで109台の車の削減！

日本の全戸が白熱型電球1個を蛍光灯型に替えると、それだけで乗用車約92万台を削減したと同じくらい二酸化炭素を減らすことになる試算されています。それを河北町5800戸に換算してみると約109台分の削減と同じということになります。それが10個替えれば何と1090台の削減です！今までの生活はそのまま（しかも経済的！）電球を替えるだけでこれだけの効果が得られる、さらに気をつければもっともっと効果が上がりますね。みんながちょっとずつ動けば地球を救うことができる。それが、この号外を配る意味です。

子どもたちの未来へ、この美しい地球、美しいふるさとを残していけるよう、ご家族みんなで考え、行動していきましょう。

河北町環境を考える会
代表 三部義道